

2024 年度版 北陸 ESD 推進コンソーシアムのしおり

「SDGs 達成に向けた ESD」を実践している方や実践しようと考えている方々へ
あなたの疑問や課題の解決を応援しています！

R6 能登半島地震からの復旧・復興を応援しよう！創造的復興に学ぼう！！
北陸 ESD 推進コンソーシアムの活動への参加・参画を待っています！



北陸 ESD 推進コンソーシアムは、北陸において「SDGs 達成に向けた ESD」を進めようと金沢大学を主幹団体として富山大学、福井大学などの大学や、北陸 3 県のユネスコ協会、や各教育委員会、ユネスコスクール、企業、NPO 法人などを会員とし、互いに協力連携しながら運営されて来ています。

北陸において、SDGs の達成に向けて、ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) を進め、持続可能な社会づくりを担う人材を育成するため、

- ・ユネスコスクールをはじめとする学校における SDGs の達成に向けた ESD の取り組みを推進
- ・公民館、図書館をはじめとする社会教育施設、青少年教育施設を通じた社会教育における取り組みを推進
- ・SDGs の達成に向けた ESD 推進に関するマルチステークホルダーの対話の場を構築するとともに、情報の共有、交流の促進を図る。そのためのプラットフォームとしての機能を充実
- ・SDGs の達成に向けた ESD を推進する学校、行政、企業、NGO を含む様々なステークホルダー間の協働の機会を創出
- ・北陸におき SDGs の達成に向けた ESD の教育実践を国内外に発信するとともに、国内外の交流を促進
- ・R6 年能登半島地震を受け、その復旧・復興や教育のレジリエンス強化の取り組みに学ぶなどの活動を行っています。

これまでの質問や要望 (例)	回答
○「SDGs 達成に向けた ESD」の <u>基本的なことから学びたい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度制作の e ラーニング教材 (動画) 「SDGs・ESD 入門ガイド」 2 本を HP か YouTube チャンネル「北陸 esd」動画で視聴ください。(以下同じ) 各 12 分程度 ・今年度 (2024 年度) も、8 月から 1 月にかけて「SDGs 達成に向けた ESD」について学び合う講座をオンラインで開催する予定です。大学の研究者や実践家を講師として招聘し、ゼミ形式で行う予定です。ふるって参加ください。講義内容は、後日 e ラーニング教材として視聴することもできます。
○北陸各地の「SDGs 達成に向けた ESD」の <u>実践事例に学びたい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・2010, 2021, 2022, 2023 年度制作の e ラーニング教材 (動画) 「実践編」 の中から視聴ください。各 15 分程度 : YouTube チャンネル「北陸 esd」で検索 ・上記のオンライン講義にもご参加ください。
○「SDGs 達成に向けた ESD」の <u>授業実践を工夫し充実させたい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸で充実している「地域 (の SD の課題) 学習」「ふるさと学習」を次の 3 点に留意してカリマネする実践が求められています。①「世界とのつながり」を理解したり「地球規模」で考えたりすることを重視する。②児童生徒の変容 (自己変革) を促す。③児童生徒が本音で話し探求する。 ・皆さんが工夫した授業実践を e ラーニング教材 (動画) づくり応募し、広く紹介して欲しいと願っています。!
○「SDGs 達成に向けた ESD」の <u>実践者と交流したい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・8 月下旬を第 1 回とし、年度内に複数回実践者交流会を予定しています。詳しくは、ホームページ及び会員宛に案内するので、ふるって申し込んでください。今年度第 1 回は 8 月 23 日 (金) の 17:00~18:30 で予定しています。
○「SDGs 達成に向けた ESD」の <u>校内研修会に専門家を呼びたい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムの事務局まで、メールで要望下さい。人選し派遣します。謝金や交通費はコンソーシアムが負担します。場合によっては、オンラインになる場合もあります。
○「SDGs 達成に向けた ESD」の授業において、 <u>専門家や研究者などに子供向けの授業をして欲しい。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動や生物 (文化) 多様性など、多くの大学研究者、NPO 法人の専門家などを学校に派遣しています。また、県温暖化防止センターや農業試験場、地方気象台などの専門家などを紹介したりもしています。謝金や交通費はコンソーシアムが負担します。

<p>○自分の「SDGs達成に向けたESD」に関する<u>実践を報告し意見をもらいたい。</u></p>	<p>・ふるって例年12月の実践交流会（12月7日）か2月の成果報告会（2月1日）で報告してください。 <u>・今年度のeラーニング教材（実戦編）の制作者に応募いただくのもいいと思います。専門家の支援、助言を受けられます。</u></p>
<p>○「SDGs達成に向けたESD」によって、<u>授業はより探究的で対話的になるのでしょうか。</u></p>	<p>・2010, 2021, 2022年度制作のeラーニング教材（動画）「実践編」30本以上の中から視聴ください。カリキュラム・マネジメントのポイントが見えてきます。また、文科省の「持続可能な開発のための教育・ESD推進の手引き」も参照ください。 <u>・今年度のeラーニング教材（実戦編）の募集における重要な部門です。是非、今年度のeラーニング教材（実戦編）の制作者に応募いただくのもいいと思います。</u></p>
<p>○自分（自校の）の授業実践を「<u>SDGs達成に向けたESD</u>」の観点で再評価したい。</p>	<p>・例年開催している12月の実践交流会か2月の成果報告会で報告してください。<u>研究者や実践者から意見や質問を受けることで再評価に向けた手掛かりが見えてきます。</u> ・一昨年度の金沢市立新神田小学校が作成したeラーニング教材が参考になります。一度視聴してみてください。</p>
<p>○公民館や企業における <u>SDGs・ESD講座を開設したい</u>ので、企画・運営等の相談に乗って欲しい。</p>	<p>・これまで以上に、SDGs・ESD講座開設の要望は多いようです。<u>相談に乗ると共に、運営に参画することも可能です。</u>遠慮なくご連絡ください。</p>
<p>○海外、国内の学校と交流したいが、<u>相談に乗ってもらえるか。</u></p>	<p>・北陸においても、シンガポール、マレーシア、アメリカ、タイなどとの交流が行われています。国内外の学校との交流をベースとしたSDGs・ESDの教育課程や教育実践は進んできています。ご連絡いただければ、<u>先行する学校を紹介したり、専門家を派遣したりするなど支援することができます。</u></p>
<p>○SDGs・ESDに関して、地域の課題など探究的に学習している<u>児童生徒の交流会はある</u>でしょうか。</p>	<p>・北陸3県いずれの県も、北陸ESD推進コンソーシアムとユネスコ協会の共催で、児童生徒の交流会を例年1、2月に開催しているので、ふるって参加ください。児童生徒が探究的で対話的な学びを充実するためにも、<u>対外的に学習成果を発表し評価を受ける場の設定は重要です。</u>協力していきましょう。</p>
<p>○ホームページに記載されている<u>実践者や研究者と直接対話</u>したい。</p>	<p>・事務局で実践者や研究者の意向を確認した上でお繋ぎします。 ・北陸ESD推進コンソーシアムでは、主催事業として年間に何度となく交流会や報告会、研修会を設定しています。その場では、<u>北陸だけでなく全国レベルでの実践者や研究者等との対話が可能です。</u></p>



北陸ESD推進コンソーシアムの主催行事や研修会、制作教材などの情報について

- ・基本的にはホームページをご覧ください。
- ・その他、フェイスブック、YouTubeでも入手できます。（北陸esdで検索ください。）

(連絡先)
 〒920-1192 石川県金沢市角間町
 金沢大学人間社会3号館1313研究室
 E-mail: hokuriku.esd@gmail.com
 TEL: (076) 264-5605
 URL: <https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp>